

深川消防団ニュース



# さきもり

発行 深川消防団  
所在地 〒135-0042  
東京都江東区木場  
3丁目18番地10号  
深川消防団本部  
TEL : 03-3642-0119  
FAX : 03-3641-4422

## 形屋新団長と角田消防署長対談



### 震災後の 消防団について

形屋団長と角田消防署長のお二人に、熱い思いをお聞きしてきました！

5月28日(月) 深川消防署長室

編集委員 本日は、お忙しい中「さきもり」の取材にお時間を頂きありがとうございます。

さっそくですが、昨年の東日本大震災から一年を経過しましたが、今思うところを、お聞かせ下さい。

#### 「震災後の消防団について」

角田署長 深川消防団長就任おめでとうございます。

今、消防団員や住民は、震災や各種災害に対しての防災意識が高まっています。消防団に対する期待もこれまで以上に高まっております。団長としては、何を優先に取り組んでいけますか。

形屋団長 当時。わたくしはまだ副団長でしたが、震度5強の発生で団本部員は団本部に参集し、また、各分団員は分団本部に参集しました。

その後、それぞれの消防団員が、被害状況を見て廻りました。家屋の倒壊・街路樹や庭先の鉢植えの倒れ・帰宅住民・さまざまな危険物の処理等に、各分団が本部の指示が無くても迅速に処理活動をし

てくれました。

今後も災害時においては、まずは自らの安全を確保した上で自主的に活動してください。

#### 「消防団の地域に対しての役割や係わり」について

形屋団長 各分団の町会・自治会等と連絡会を多く取り、総合防災訓練等で培われた防災復旧をお互いの立場で役割を分ける様な打合せが必要です。

角田署長 地震発生後、消防団分団本部に集合し、分団長は団員の確認、団施設、資器材の状況把握を行うこと、次に、管轄地域の状況確認、情報収集、消防団本部への報告を行います。

また、災害発生時は、町会・自治会長等、災害協力隊と連携し消火、救助にあたります。

#### 「震災後と前とは何が変わるか また、変わったと思う点」について

形屋団長 角田署長初め、署員の皆様のご指導で、出火出動の時は、必要に応じて可搬ポンプ出動の参集を多くし消火活動に応じたい。

消防団としては、分団の意識で自主的、且つ適切な行動を行う。このような事を、今後多くしていきたい。また、変わった点は、消防団や住民等も、近い将来大地震は起きると(2面へ)



(1面より) 確信していると思います。そのためか、最近では防災訓練に参加する住民が多くなりました。

**角田署長** 基本的には変わらないが、消防団員の殉職が多かったことから、活動時の安全確保が重要です。

自分自身が無事であることが必要であり、安全を確保したうえで活動すること、危険を察知したなら安全な場所へ退避することです。

変わったと思う点は、区民の地震に対する意識です。東日本大震災を受けて、複合災害の恐ろしさを知ったところであり、地震、津波、液状化、生活インフラが破壊された時の不安は増大しています。地元町会、自治会と一体となった活動、いわゆる地域の防災リーダーとしての役割を担う。

地元の危険実態を捉えて、一緒に考える。

事前対策、応急対策、避難所開設等、様々な実態があると思う。

「震災後消防団として、新たに訓練等で、学んで行かなくてはならない点」について

**形屋団長** まずは、消防団と消防署の連携、そして、行政の手が回らないことが想定される為、被害を最小限に抑える初期消火訓練を、消防団が防災リーダーとなり、町会・自治会・災害協

力隊との連携訓練を繰り返し行う事が非常に大事です。



角田署長、形屋団長、棚山編集員 (署長室にて)

**角田署長** 震災時は火災優先となり消火活動に従事するが、小規模で町会・自治会、災害協力隊が対応できるときは任せる。救助救急救助対応は現場トリアージ(重症度と緊急性によって治療の優先度を決める事)ということが求められる。傷病の程度を判別し優先度を判断し対応する。

また、消防団と消防署は組織的な活動が求められます。具体的には、分団長は分団員の活動状況、情報収集内容、

管轄被災状況について団本部と連絡を密にすることです。

今回、高性能のMCA無線機が配備されるので効果的な活動ができるよう訓練してほしい。

「分団本部建物」について

**形屋団長** 深川消防団は、十個の分団がありますが分団本部建物があるのは四個の分団です。早くご支給して頂きたいです、装備されているプレハブ格納庫だけでは、支給されている資機材が収納しきれません、宜しくお願ひします。

**角田署長** 各分団の活動拠点を未整備のそれぞれの地区で確保し効果的な活動ができるようにしていくことも必要である。(分団本部の整備)

**編集委員** 本日は、お忙しい中「さきもり」への取材協力ありがとうございました。

※編集員として、角田消防署長、形屋団長のお話の中で「活動時の安全確保、消防団員として活動中危険を察知したら安全な場所へ避難する」こと、大勢の消防団員・消防署員が犠牲となった東日本大震災、改めて思う・・・。

(第十分団 棚山編集員)

**消防団協力事業所**

弊社は、防火・防災に積極的に取り組んでいます。

http://www.teisoh.co.jp/ E-mail:info@teisoh.co.jp  
PHONE.03-3642-0121 FAX.03-3641-1763

**TEISOH** 株式会社 テイソウ  
〒135-0024 東京都江東区清澄 1-5-1

**消防団協力事業所**

株式会社 **ムトウユニパック**



代表取締役 会長 **武藤 庄一**

私たちは、本社ならびに各事業所を通じ、地域社会への貢献を目指しております。



本社 / 東京都江東区永代 1-7-12 TEL 03-3642-1141 (代表)  
http://www.mutoh-u.co.jp/  
支店・出張所 / 城南・東京中央・城西・横浜・千葉・四ッ谷・さいたま  
栃木・前橋・新潟・水戸・長野・大阪・仙台





問題点を発言する田口団本部分団長

「3・11東日本大震災」時に地域住民の避難場所がどこかなど色々問題点が浮かびました。これを踏まえて、震災後の昨年3月に第二分団が町会に呼びかけ協議会を立ち上げ、11月に設立しました。今回は第3回目の会議で、江東区防災課・深川消防署警防課も参加して、江東区総合防災訓練（扇橋小会場）の運営・実施に向けて意見討論を行いました。

深川八ヶ町地区内の防災関係団体（町会・学校・消防団）の相互連携を深め「地域防災力の向上」を計ります。

◆ 深川八ヶ町防災会議  
第二分団が呼びかける ◆

【期日】5月23日 場所/扇橋小



警防課長  
消防司令長  
あまがい  
雨谷 嘉男

消防署定期人事異動（四月一日付）

出身は茨城県です。住まいは千葉県印西市の千葉ニュータウンで、家族は妻、子供2人、愛犬2匹（屋内）です。江東地区は、住民の心のつながりが強く、防災等に関する共助の土壌が昔からできている地域です。

それらを大切にしながら、昼夜地域に密着し献身的に活動している消防署の最良のパートナーである深川消防団に、ご支援・ご協力を頂きながら、消防署がそこにあつてよかつたと言ってもらえるよう全力で取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

経歴

昭和52年10月東京消防庁入庁  
その後、池袋消防署、江戸川消防署、西新井消防署、丸の内消防署、足立消防署、浅草消防署を経て、  
本年4月、深川消防署に着任。



課長補佐  
消防司令  
林 高行

私の東京暮らしも半世紀が経ちました、住吉町のおそか病院で生まれ4歳まで猿江で育ちましたが、当時の都電やトロリーバスなど「三丁目の夕日」は流石にありませんね！  
4月から消防団を担当し、新たな志と全力投球で地域の安心・安全に邁進する覚悟です。

皆様方のご支援ご協力を頂きますようお願いいたします。

経歴

昭和51年2月東京消防庁入庁  
その後、本郷消防署、蒲田消防署、豊島消防署、東京消防庁消防学校、目黒消防署、高輪消防署、第八方面本部ハイパー・レスキュー隊を経て、平成19年4月に深川に着任。

深川消防団員募集中!!

女性・勤務者・学生の方大歓迎  
入団資格  
心身ともに健康で、十八歳以上の方  
消防団の区域内に居住、又は勤務の方  
お問い合わせ  
深川消防団本部（3632・0119）

消防団協力事業所

弊社の社員も消防団員として活動しています。

社員一人ひとりが、防火・防災の知識・技術の向上に取り組んでいます。

ご宿泊・ご婚礼・ご会合等、お気軽にお問い合わせください。

ホテル イースト21東京  
www.hotel-east21.co.jp

「大震災はいつ起こるか  
分からない」

弊社の社員も消防団員として活動しています。

丸八倉庫株式会社

江東区富岡 2-1-9 N.V 富岡ビル 4階



消防団新辞令 (四月一日付)



副団長  
平山 敏夫  
(前団本部分団長)

副団長として、二年間の団本部分団長の経験を生かし、伝統ある深川消防団発展のため、今後も「責任と自覚」を胸に、努力する所存でございます。



副団長  
山下 勝義  
(前第八分団長)

今まで本分団長、第八分分団長として、改革に努力してきました。その経験を生かし、各分団のパイプ役となり、本団副団長としての職責を全うしてまいります。



団本部分団長  
田口 賢治  
(前第二分団長)

この度、四月一日付で本分団長に任命されました。第二分団長 二期 四年の経験を活かし、深川消防団の為に務める所存です。さて震災後、地域の目は消防団に向

けられており、我々も期待にそうよう頑張っていく所存でございます。最後になりますが皆様の御指導、御鞭撻をよろしく願います。



団本部分団長  
飯田 歳樹  
(前第八副分団長)

4月1日より、団本部分団長を拝命致し重責を感じております。

「想定外の自然エネルギー」私は建築フレームを職業とし、また消防団員として昨年の東日本大震災を振り返って見ると、一瞬にして尊い命を奪ったあのエネルギーを我々はどこまで想定出来たか、しかし、津波を想定して避難訓練を行っていた生徒が多数助かった事例からも訓練を十分積んだ、防災リーダーの存在が不可欠であり、それが消防団員の使命だと思っています。

近々発生すると言われる東京湾北部地震に備えて深川消防団全員で国民の安心安全を守りましょう。



第一分団長  
高田 眞三  
(前副分団長)

4月1日より、第一分団長を拝命致し重責を感じております。日頃から自然災害を最小限に食い止めるべく、団

員の士気を高め本団を始め、地元町会や災害協力隊と連携を深め正業のかたわらではありますが、積極的に訓練や活動を展開させていただきますので、ご指導ご協力をお願い致します。



第二分団長  
渡邊 美憲  
(前副分団長)

我が町は、四方を大横川・仙台堀川・横十間川・小名木川に囲まれ地下鉄の駅も無く、23年度中における火災出動も無く大変穏やかな町です

これも地域八ヶ町連合町会の皆様の防火防災に対する関心の深さ、ご支援助の賜物と感謝致しております

今後も安心安全の住み良い街づくりの為、微力ではございますが一層努力致す所存でございます。



第五分団長  
金山 建治  
(前副分団長)

この度四月一日付で前野沢分団長の後任として五分団長に就任致しました金山です。

伝統ある第五分団の名に恥じぬ様これから頑張りますので宜しくおねがいします。又、地元・地域の為、一生懸命、力を尽くしたいと思えます。



第八分団長  
鳩貝 裕幸  
(前副分団長)

消防署の指導のもと、これからの分団活動を進めていき、分団のレベルの向上を目指します。

若い団員が増えましたので、消防団に必要な技術とよき伝統を継承していきたいと思えます。



第九分団長  
下村 勝一  
(前副分団長)

このたび、はからずも大役をおおせつかり、その責任の重大さを改めて痛感している次第であります。微力では御座いますが、皆様の納得のいく実績をあげるべく、業務に邁進していく所存であります。今後とも、より一層のご指導・ご鞭撻のほどを宜しくお願い致します。

表彰者の紹介 (始め式以降の)

消防庁長官表彰

永年勤続功労章 (三月二日)  
団本部 副団長 形屋 憲一

叙勲 瑞宝双光章 (六月一日)

元団長 増茂洋ノ進